

a 緑豊かでゆとりある
郊外住宅地の景観

【特性】

- ・重厚で緑豊かな生垣、ゆとりある敷地などが特徴的な、田園都市を意識して整備された大美野の良好な住宅地の景観
- ・計画的に整備されたさつき野の整った住宅地景観



大美野の住宅地のまちなみ



さつき野の住宅地のまちなみ

【景観形成のヒント】

- 住宅地の特徴的なまちなみの要素（石積み、生垣、ゆとりある敷地など）をできるだけ保全する A-3①(P21)
- 新しい住宅を計画する時にも、周辺のまちなみに配慮したデザインとする A-3①(P21)

b 集落地の景観

【特性】

- ・田園景観と調和した、昔の集落や寺社・仏閣が残る黒山のまちなみ
- ・街道沿いに残るまちなみ



黒山の集落のまちなみ

【景観形成のヒント】

- 昔ながらの家屋が並ぶまちなみ、塀から見える樹木などをできるだけ保全する A-2①(P17)
- 新しい住宅を計画する時もまちなみの連続性を意識する A-2②(P18)
- 集落の家屋や寺社・仏閣など歴史的資源と調和させる A-2②(P18)

c 田園景観

【特性】

- ・ため池・河川といった特徴的な自然景観が位置し、田畑が広がる田園景観



舟渡池

【景観形成のヒント】

- ため池、河川など自然資源を保全する A-1①(P14)
- ため池、河川などへの広がりある眺望を阻害しないようにする A-1②(P15)
- 丘陵地に残る緑はできるだけ保全するとともに、大きく地形を改変するような行為は避ける A-1②(P15)

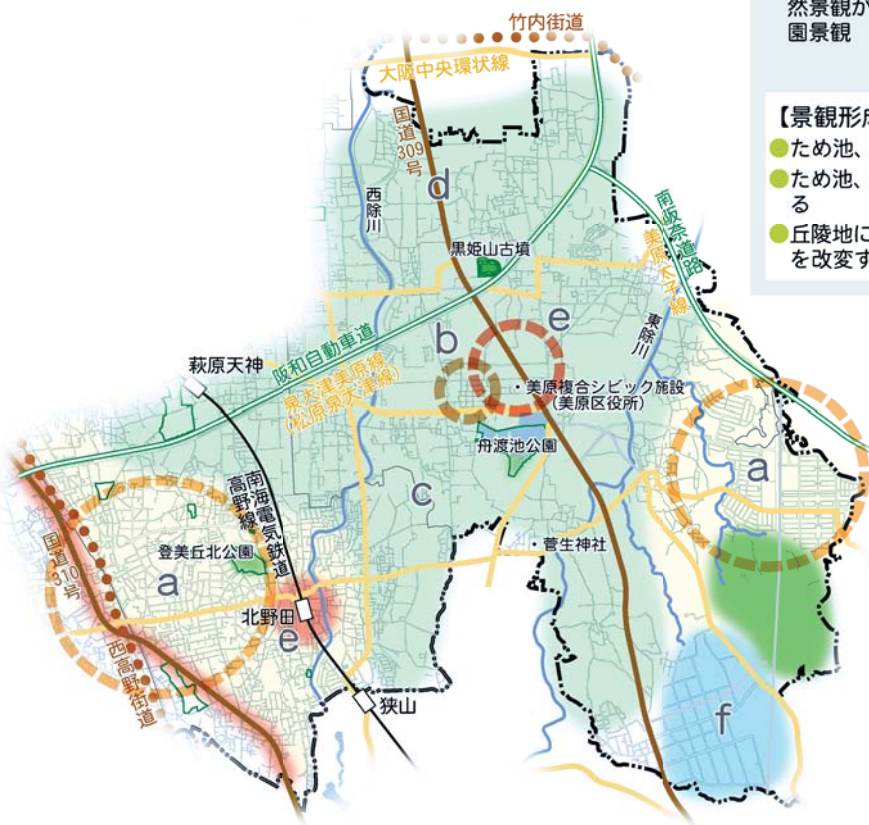
d 幹線道路沿道の景観

【特性】

- ・商業施設が建ち並ぶにぎわいを感じられるまちなみ

【景観形成のヒント】

- 沿道からの広がりある農地・集落への眺望を妨げない A-1②(P15)
- 通りの特性や周辺の景観に配慮したデザインを考える A-3②(P22)
- 交差点部など人の目が留まりやすいところは沿道の建築物のしつらえなどを工夫し、まちかどとして演出する A-3②(P22)
- 屋外広告物の過度な演出は避け、繁雑な沿道景観にならないようにする A-3②(P22)



※特徴的な景観特性の図示がない地域においても、周辺のまちなみに応じて建築物等を計画する必要があります。

e 整備が進む拠点及び
その周辺の景観

【特性】

- ・市街地再開発が進み整った北野田駅前の景観
- ・洗練されたデザインを持つ美原新拠点の景観



美原複合シビック施設

【景観形成のヒント】

- 田園景観との調和を保ちつつ、拠点としてふさわしいデザインとする A-3②(P22)

f 木材工業団地の景観

【特性】

- ・工場が集積するまとまりあるまちなみ



大阪木材工業団地協同組合組合会館

【景観形成のヒント】

- 明るいイメージのデザインとする A-3②(P23)
- 敷地の植栽を充実させる A-3②(P23)